

第1回定例研究会

「味覚の文化史 味付けする動物－人間」

第1回定例研究会は、元 本学生活環境学部教授の大塚滋先生をお招きして、「味覚の文化史 味付けする動物－人間」と題して講演いただきました。大塚滋先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1928年生まれ。1952年、大阪大学理学部を卒業した後、大阪府立大学農学部、米国ウースター生物学研究所研究員、東洋食品工業短期大学教授などを経て、1982年、武庫川女子大学教授に就任。1998年3月に同大教授を退職、2003年まで非常勤講師。理学博士。専門は食品生化学、食文化論。日本化学会、日本文芸家協会会員。

著書に、『カレーライスがやって来た－日本たべもの事始』（朝日文庫）、『たべもの文明考』（朝日新聞社）、『食の文化史』（中公新書）、『味の文化史』（朝日新聞社）、『野の牝鳥』（創作集）など多数。

講師

大塚 滋 氏（元 武庫川女子大学生活環境学部教授）

テーマ

味覚の文化史 味付けする動物－人間

講演日

2010年4月17日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

